

みかん防砂だよりの



みかんの向こうに（静岡市駿河区小坂）

年頭の御挨拶	2
2016年しずおかの砂防10大ニュース	
平成29年度 政府予算案閣議決定	3
全国治水砂防促進大会及び支部要望活動	4
長崎県の砂防関係事業等視察	5
市町等砂防担当職員研修	6
平成28年土砂災害の発生状況	7
土砂災害防止講習会の開催	8
わがまち(御殿場市・下田市)	9
インフォメーション	10
お知らせ	12



平成29年度 政府予算案閣議決定



全国治水砂防促進大会
及び支部要望活動

長崎県の砂防関係事業等視察
市町等砂防担当職員研修



平成28年 土砂災害の発生状況

全国治水砂防協会静岡県支部

年頭の御挨拶



全国治水砂防協会静岡県支部
支部長 原田 英之

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様には、日頃から当支部の活動に対しまして、御支援と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、4月の熊本地震、夏には東北・北海道で相次ぐ台風の上陸などにより、過去10年で最も多い土砂災害が発生しましたが、幸いにも本県では例年に比べて土砂災害が少ない年となりました。

近年は、地球温暖化の影響と思われる記録的な豪雨等が頻発化し、また南海トラフ巨大地震の発生が危惧されるなど、土砂災害に対する備えが急務となってきております。

このため、県では、総合計画後期アクションプランにおいて「土砂災害による死者数0人」を目指し、土砂災害防止施設の着実な整備を進めるとともに警戒避難体制の整備を図るため土砂災害警戒区域等の指定を推進するなど、ハード・ソフト一体となった総合的な土砂災害対策に取り組んでおります。

市・町としましても、激甚化する土砂災害から地域住民の生命・財産を守るため、砂防関係事業を促進するとともに、日頃から災害に対する防災知識の普及や住民の早期避難に繋がる防災情報を適時適切に住民に伝えるなどの警戒避難体制の充実・強化を図っていくことが重要となってきております。

今年も引き続き県と連携し、地域の安全・安心を確保できるよう砂防関係事業の普及・発展に努めてまいりますので、会員の皆様におかれましても、より一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、今年が平穏な年でありますよう祈念いたしまして、年頭の御挨拶とさせていただきます。

2016年 しずおかの砂防 10 大ニュース

静岡県支部第71回通常総会開催！

5月26日、静岡市内において静岡県支部第71回通常総会を、川勝知事、藪田県議会副議長、栗原砂防計画課長、(一社)全国治水砂防協会岡本理事長の御出席のもと開催しました。



地滑りの土砂災害警戒区域第1号を指定

平成28年の土砂災害

平成28年の土砂災害は18件。過去10年間で最も少なかった平成20年に次ぐ発生件数となりました。ただし、土砂災害警戒情報の発表は8回(19市町30地区)と年平均(5.7回)を上回りました。

「土砂災害防止に関する絵画・作文」コンクールで、昨年に続き事務次官賞を受賞

1月27日、「土砂災害防止に関する絵画・作文」コンクールで、浜松市立可美中学校の塚越さんが事務次官賞を受賞しました。3月24日に県知事賞他5作品と併せて表彰式を実施しました。

市町長等県外視察で長崎県五島市を視察



平成29年度 政府予算案閣議決定

平成28年12月22日(木)、平成29年度政府予算案が閣議決定されました。国土交通省の行政経費等を含む予算額は、国費ベースで対前年度比1.00の約5兆7,946億円です。予算のポイントの内、砂防関係事業に関するものを示します。

(単位：億円)

事 項	平成29年度 (A)	平成28年度 (B)	対前年度倍率 (A/B)
水管理・国土保全局関係予算	8,009	8,006	1.00
治水事業等関係費	7,956	7,953	1.00
河川関係	6,768	6,764	1.00
砂防関係	1,048	1,049	1.00
海岸関係	140	140	1.00
下水道事業関係費	54	54	1.00
社会資本総合整備	19,997	19,986	1.00
うち防災・安全交付金	11,057	11,002	1.01
その他(道路・港湾等)	29,940	29,775	1.01
国土交通省関係予算国費 合計	57,946	57,767	1.00

- ※沖縄振興予算の国土交通省関係分を含む。
- 本表のほか、以下のものがある。
 - 受託者の負担に基づいて行う附帯・受託工事費 745 億円
 - 復旧・復興事業（東日本大震災復興特別会計） 5,318 億円
- 計数は、整理の結果異動することがある。

砂防関係事業における主要項目

「平成29年度予算編成の基本方針」を踏まえ、防災・減災対策、老朽化対策等への課題に対応するため、以下の項目に重点化を図る。


- 下流域の安全度向上や重要交通網の保全に寄与する土砂災害対策
- 火山地域における土砂災害対策
- 土砂災害警戒区域等の指定および避難体制の充実・強化の促進

砂防関係事業の新規要求事項等

- 急傾斜地崩壊対策事業の拡充
大規模地震の発生した地域では発災後一定期間に限り、保全人家戸数が少ない地区についても、新たに急傾斜地崩壊対策事業の交付対象に追加する。

JICA主催の研修で 本県の地すべり対策等を視察(3回実施)

村松前会計監査役、功労者表彰を受賞
5月24日、(一社)全国治水砂防協会第80回通常総会において、村松前会計監査役が静岡県支部における活動の功績が認められ、功労者表彰を受賞しました。




梅ヶ島災害50年記念式典開催
6月17日、昭和41年の土石流で26人が犠牲となった梅ヶ島災害から50年の節目に合わせ、地元小中学生などが参加した防災講演会が梅ヶ島小中学校で開かれました。

平成28年度第2次補正予算約16億円が決定

治山・砂防事業推進議員連盟が、初の県外視察(福岡県)を行う

全国の平成28年土砂災害発生件数が過去10年で最多の1,492件となる

砂防学会東海支部設立
4月23日、東海4県の土砂災害対策に携わる行政担当者と民間事業者、研究者が参加し、設立されました。



砂防会館本館建替工事始まる

砂防課設立50周年を迎える

番 外

※順番、枠の大小、写真の有無などについては、ニュースの大小を表していません。

全国治水砂防促進大会 及び支部要望活動

11月15日(火)に、全国治水砂防促進大会が砂防会館で開催されました。

全国から1,031名が参加し、当協会からも13名が出席しました。大会に先立ち、河野俊嗣宮崎県知事から「『常在危機』を胸に災害対策に取り組む」と題した特別講演が行われました。

大会は、綿貫民輔会長の挨拶、末松信介国土交通副大臣の祝辞に続き、国土交通省西山幸治砂防部長から「強靱な国土へ、これからの砂防」と題した講演をいただいた後、会員代表として、佐藤義興熊本県阿蘇市長と寺本眞一和歌山県那智勝浦町長から意見発表が行われました。

次に、宮城県蔵王町長である村上英人副会長から大会提言について説明がなされ、満場一致で採択されました。

大会終了後、地元選出国會議員及び国土交通省へ、平成29年度予算確保に向けて要望活動を行いました。

お忙しい中、ご出席いただきました会員の皆様には心より御礼申し上げます。



河野宮崎県知事の特別講演



綿貫会長の挨拶



末松副大臣の祝辞



西山砂防部長の講演



促進大会の様子

参加市町

袋井市、富士宮市、伊豆市、河津町、川根本町、東伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、森町、浜松市、島田市、伊豆の国市（13市町/35市町）※太字は本人参加

長崎県の砂防関係事業等を視察

8月25日(木)から27日(土)に、「世界遺産と砂防の係わり」をテーマに、世界文化遺産への登録に取り組んでいる長崎県福江島(五島列島)を訪れ、土砂災害対策や観光を主産業とする離島の警戒避難体制の取組について現場視察や五島市副市長らと意見交換を行いました。

この視察は、当協会が毎年実施している事業で、会員(市町長)が砂防関係事業を視察し、生きた教訓により土砂災害に関する見識を広め、砂防事業への理解を深めることを目的とするものです。

今回の視察は、長崎県砂防課、長崎県五島振興局、五島市の協力を得て実施したもので、原田支部長(袋井市長)を団長に、事務局を含め25名が参加しました。

離島という地理的条件や、降雨・気候等気象条件が本県と異なるものの、観光地における景観を考慮した施設整備の進め方や自主防災組織育成への取組など、各市町長にとって、今後の市町政運営の参考となる大変有意義な視察となりました。

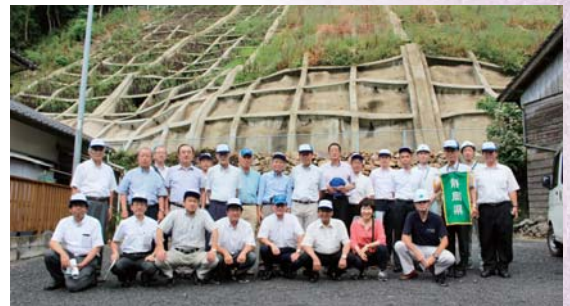
なお初日には、熊本地震により甚大な被害を受けた益城町の被災状況を車窓にて視察しました。



五島市副市長との意見交換



鏡瀬(あぶんぜ)ビジターセンター視察



東平地区急傾斜地崩壊対策事業視察



熊本県益城町被災状況車窓にて視察

日程

8月25日(木)

- 熊本県益城町ほか地震被災状況視察

8月26日(金)

- 五島市役所において……①
五島市より、過去の災害状況、離島における警戒避難体制や世界遺産登録への取り組み等の説明及び意見交換
- 「鏡瀬(あぶんぜ)ビジターセンター」視察……②
- 「大瀬崎断崖」視察……③
- 東平地区急傾斜地崩壊対策事業視察……④
長崎県五島振興局建設部河港課より、事業の説明

8月27日(土)

- 静岡県における土砂災害対策の現状を報告
- 「堂岬教会」等地域活性化施設視察

参加市町等

袋井市、富士宮市、河津町、川根本町、静岡市、東伊豆町、小山町、沼津市、島田市、菊川市、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、森町、焼津市、伊豆市
(17市町/35市町) ※太字は本人参加
理事(土木技術担当)、下田・沼津土木事務所長、砂防課(事務局)

市町等砂防担当職員研修

12月2日(金)、県内市町の砂防担当職員および県土木事務所職員25名の参加により、土砂災害警戒情報の活用に役立つ実践的な研修会を静岡県庁東館16階OA研修室で開催しました。

砂防課から「土砂災害全般について」の説明や、「土砂災害警戒情報等情報収集演習」を行いました。また、静岡県地方気象台井川土砂災害気象官より「静岡の気象と防災気象情報について」講演をしていただきました。

参加者からは、「実際にパソコンを操作しながらの説明はわかりやすく、すぐ実践できると思った。」「気象庁HPや土砂災害警戒情報補足情報システムの確認方法を学べてよかった。」「静岡県GISの操作方法など、今まで知らなかったことを学べたので、今後の業務に活かしたい。」など、多くの貴重な意見や感想が寄せられました。

なお、来年度は6月の開催を予定しております。

参加市町等

《市 町》

静岡市、浜松市、熱海市、
富士宮市、伊東市、富士市、
磐田市、焼津市、御殿場市、
裾野市、湖西市、菊川市、
牧之原市、河津町、小山町、森町

《土木事務所》

静岡土木事務所、浜松土木事務所



研修会の様子



井川土砂災害気象官の講演

治山・砂防事業推進議員連盟が福岡県の砂防関係事業を視察

11月1日(火)・2日(水)、水と豊かな生活環境の創造と安心して暮せる社会基盤の整備を目標に、砂防関係事業の推進を目指す「静岡県議会治山・砂防事業推進議員連盟」の視察を福岡県等で行いました。

今回は、当議員連盟で初めての県外視察であり、会員68名のうち19名の御参加をいただき、環境整備を行っている福岡県糸島市の加茂川砂防事業、平成24年の九州北部豪雨で甚大な被害のあった福岡県八女市星野村の星野川、志屋川の災害関連緊急砂防事業等を視察されました。

議員の皆様は、熱心に現場の状況を見ていただき、砂防事業の効果や災害対応等に関する質問が多く出されるなど、土砂災害対策等の重要性について再認識していただきました。



「志屋川砂防堰堤」工事現場にて



「星野川(砂防)」工事現場にて

出席者名簿		
氏名	会派	
杉山 盛雄	自民改革会議	
小野 達也		
鳥澤 由克		
藤曲 敬宏		
野田 治久		
土屋 源由		
和田 篤夫		
木内 満		
相坂 摂治		
野崎 正蔵		
鈴木 利幸		
渥美 泰一		
小長井由雄		
田形 誠		
佐野 愛子		
山崎真之輔	公明党	
前林孝一良		
高田 好浩	静岡県議団	
桜井 勝郎	無所属	

※議連役員・選挙区順

静岡県内土砂災害の発生状況

土砂災害は、降雨や地震などにより突然発生し、尊い生命や貴重な財産を一瞬にして奪い、地域に深刻な被害をもたらします。

土砂災害は毎年全国各地で発生し、過去10年間で平均1,000件、県内においても年平均50件も発生しています。

平成28年は、全国で1,492件の土砂災害が発生しましたが、県内では18件(土石流1件、がけ崩れ17件)と、最近10年では平成20年の17件に次いで2番目に少ない件数となりました。

このうち、西伊豆町の「安良里向田」では、コンクリート擁壁が土砂をくい止め、住宅等への被害を防止しました。

平成28年 土砂災害の発生状況(国交省所管)

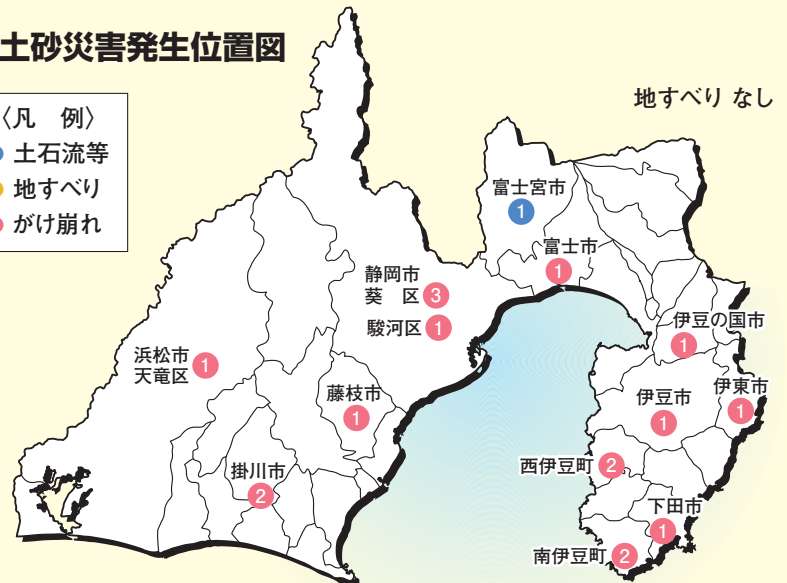
種別	年次	平成28年														静岡県計	
	発生日	2月14日	3月7日	3月9日	4月6日	5月4日	5月17日	6月30日	7月9日	8月15日	8月22日	9月13日~14日	9月24日	11月2日	11月19日		
	原因	豪雨	豪雨	豪雨	不明	豪雨	豪雨	豪雨	豪雨	豪雨	豪雨	台風9号	豪雨	豪雨	豪雨		豪雨
土石流等	発生件数					1											1
地すべり	発生件数																0
がけ崩れ	発生件数	1	1	1	1		1	1	1	1	1	3	3	1	1		17
	計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	1	1		18
	内施設効果あり	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2



人家裏のがけ崩れ状況(静岡市葵区梅ヶ島地内)

土砂災害発生位置図

- 〈凡 例〉
- 土石流等
 - 地すべり
 - がけ崩れ



急傾斜地崩壊防止施設



がけ崩れから人家を守った急傾斜施設(西伊豆町安良里地内)

「土砂災害防止講習会」が開催される

土砂災害による人的被害を未然に防止するためには、日頃からの危険箇所の監視・点検や、地域住民への防災知識の普及が重要です。

静岡県では広報活動として、地域住民及び自主防災組織の方々を対象に、地域の自主防災組織の会合等に職員を派遣し、「土砂災害防止講習会」を実施しています。また、防災教育の一環として、小中学生を対象とした「土砂災害出前講座」も実施しています。

平成28年度の「土砂災害出前講座」では、砂防課ウェブサイトやチラシ配布による周知を行った結果、例年より多くの出前講座を行うことができました。参加した子供達から「自分の住んでいる所や周辺にある土砂災害の恐れがあるところを確認する」、「いざという時に早めの避難をするように心掛ける」等の声が寄せられました。

今後も土砂災害防止に関する知識の普及を図るために、積極的な広報活動を推進していきます。



講習会の様子(下田土木事務所：松崎町)



山ノ神川砂防堰堤お披露目会(静岡土木事務所：静岡市清水区)



出前講座の様子(浜松土木事務所：上阿多古小学校)

ご案内 小中学生向け

土砂災害防止出前講座

～土砂災害からくらしと命を守る砂防～

人命や財産を奪うなど多大な被害を及ぼす土砂災害。この出前講座では職員が小中学生の皆さんに土砂災害についてわかりやすく説明します。県が行っている対策やみなさんができる日頃の備えについて、楽しく学べますので、授業に取り入れてみませんか？

土砂災害について説明

土砂災害の被害や危険箇所について、土砂災害防止法や避難方法を中心に、避難の仕方などわかりやすく教えます。

手作りのハザードマップの作成

地図を利用して、近くの土砂災害の危険箇所を調査し、ハザードマップを作成します。

砂防事業の工事現場見学

砂防施設などの工事現場や完成した施設を見学し、説明を受けます。

土砂災害のしくみや身を守る方法、避難の仕方など様々な方法でわかりやすく教えます。

対象 静岡県内の小中学校

実施会場 小中学校の教室、体育館など

実施時間 1時間程度(学校の授業時間に合わせます。)

実施内容 ご相談の上決定します。

費用 無料

申込方法 お電話もしくは静岡県砂防課ウェブサイトをご確認ください。

ご質問・ご相談などお問合せください!

静岡県は以下の方法でアクセスできます。

①HPアドレス: www.pref.shizuoka.jp/kansetsuhs-350/

②コールセンター及び

③インターネットで「静岡県砂防課」と検索

静岡県砂防課

TEL: 054-221-3044

FAX: 054-221-3044

mail: sabon@pref.shizuoka.jp

■ H26～H28 (12月31日現在) 講習会、出前講座実施回数

	H26	H27	H28 (12月31日現在)
講習会実施回数 (受講者数)	31回 (2,529名)	47回 (2,805名)	33回 (2,299名)
出前講座実施回数 (受講者数)	1回 (21名)	5回 (261名)	7回 (225名)

御 殿 場 市

管理維持課

御殿場市は、霊峰富士の東麓に位置する緑豊かな高原都市です。人口は約9万人余を有し、静岡県では中規模な都市として発展を続けています。御殿場は東京から約100キロの距離にあり、東京・横浜などの経済圏、通勤圏内にもなっています。また、市内には東富士演習場をはじめとする自衛隊関連施設が多く存在し、市域の約3分の1を占めています。御殿場といえば、富士山。世界でも有数の名山で、日本一の高さで景観を誇る富士山は、御殿場を象徴する名所でもあります。四季折々の美しい景観、雄大な自然に囲まれたスポーツ環境、自然散策、歴史探訪など、御殿場はひと味ちがった楽しみを味わうことができます。



御殿場市印野「富士山樹空の森」から見た風景



御殿場みくりやそば

味わうといえば、御殿場みくりやそばという、おそばをご存知でしょうか？

御殿場では、古くから祝い事の際などに、客人への御馳走料理として手づくりのおそばを出す習慣があります。その「おそば」こそが「みくりやそば」であり、そばのつなぎに「山芋」や「自然薯」を使うのが特徴で、のどごしの良さと素朴な味わいを兼ね備えています。出し汁に鶏肉を使用しているのも独特の特徴で、具材として「鶏肉」、「しいたけ」、「にんじん」を使用したものが基本レシピとして受け継がれています。御殿場のソウルフード・ご当地グルメとして、多くの皆さんに「御殿場みくりやそば」を味わっていただけたら幸いです。

下 田 市

建 設 課

開国のまち下田

開国のまち下田は、1854年ペリー提督率いる黒船艦隊が来航し、開国の舞台として知られています。まちには当時を語る史跡が多く残され、情緒豊かな開国ロマンが感じられます。

毎年5月には、下田開港に尽くした内外の先賢の偉業を称え、併せて世界平和と国際親善に寄与するため、黒船祭を盛大に開催しています。この黒船祭は、国際交流の息吹を脈々と受け継ぎ、日米両国の関係育成に重要な役割を果し、年ごとに盛大な祭典となっています。

また、下田港の沖合は黒潮が流れる太平洋に面しているため、豊富な海産物に恵まれています。中でも金目鯛の水揚げ量は日本一を誇り、下田ブランドの一つに数えられ、様々な調理法で親しまれています。さらに、沖合の神子元島周辺の海域では、特大のサザエを収穫することができます。このサザエは、通称「下田S級サザエ」と言い、激しい潮流のもとで豊富な海藻を食べ、通常サイズの3、4倍の大きさになります。漁獲量が非常に少ないため、地元でも滅多に目にすることができない貴重な食材です。

このような開国の歴史に彩られた文化やまちなみ景観、豊かな自然に育まれた食材の他にも、豊富に湧出する温泉、四季折々の草花など数多くの貴重な素材が溢れています。

本市はこれら素材を存分に活かし、住む人も訪れる人も誰に対しても感動を与え、魅力を伝えられるまちづくりを進めています。



黒船祭一再現劇「下田条約調印」



下田S級サザエ

事業評価監視委員会が開催される

9月12日(月)、平成28年度第3回静岡県事業評価監視委員会(第1回:8月2日、第2回:8月19日)が県庁で開催されました。砂防関係事業では、事後評価で砂防事業の「小胡挾沢(藤枝市)」が審議され、「改善措置の必要性は特に認められない。」との意見がとりまとめられました。

また、再評価では、砂防事業で「静居寺沢(島田市)」等7箇所、地すべり対策事業で「岡部二反田(藤枝市)」等2箇所、急傾斜地崩壊対策事業で「両島瀬林(浜松市)」等8箇所の計17箇所が審議され、「いずれも事業を継続するのが相当である」との意見がとりまとめられました。

平成29年度は、再評価で6件(砂防1件、急傾斜5件)、事後評価で1件(砂防1件)が対象となる予定です。

平成28年度技術研修会並びに第70回研究発表大会が開催される

10月27日(木)~28日(金)、全国地すべりがけ崩れ対策協議会による平成28年度技術研修会並びに第70回研究発表大会が、鹿児島県鹿児島市で開催されました。

技術研修会では、国土交通省の石田課長補佐から「砂防行政に関する最近の話題」について、熊本県の松尾課長補佐から「平成28年 熊本地震について」の講演が行われました。

研究発表大会では、全国各ブロックの代表都道府県より、雪崩部門、地すべり部門、急傾斜部門の事例発表が行われました。

なお、来年度は静岡県で開催する予定です。



技術研修会の様子

ジオフォーラム2016 IN 静岡が開催される(主催 静岡県地質調査業協会 他)

10月14日(金)、静岡県地質調査業協会主催による「ジオフォーラム2016 IN 静岡」がしずぎんホール ユーフォニアで開催されました。今回は建設工事に関わる種々な地盤の問題についての事例発表の他、地質についての社会的関心を高めるため、静岡県交通基盤部の女性土木技術者による発表およびスーパーサイエンスハイスクール指定校である静岡市立高校と静岡北高校のコラボ研究の発表が行われました。また、笠原東大名誉教授による熊本地震活動の地学的背景と、広域な地震活動についての特別講演もあり盛大に開催されました。



協会会長のあいさつ



高校生による発表

JICA課題別研修「土砂災害防止マネージメント」を開催

10月19日(水)、独立行政法人国際協力機構(JICA)が実施する、課題別研修「土砂災害防止マネージメント(豪雨、地震、火山噴火起因)」が、静岡県地震防災センター(静岡市)で開催され、砂防課職員が、海外の研修員20名(アルメニア、ブラジル、フィリピン等、計14カ国)に、本県における土砂災害防止法による警戒区域の指定の実務等について講義を行いました。

また、センター職員からの東海地震のメカニズムに関する説明のほか、センター内の施設で地震の揺れを実際に体験しました。



講義の様子

中部ブロック土砂災害防止推進会議幹事会 第1回現地研修会が開催される

8月23日(火)、中部ブロックの土砂災害防止推進会議幹事会が富士宮市の富士砂防事務所管内で開催されました。中部地方整備局と東海4県の砂防担当者が参加し、富士砂防事務所の防災体制、大沢扇状地及び管内の砂防堰堤の現場見学を行いました。



富士砂防事務所説明



大沢扇状地説明

平成28年度 東海地区治水砂防協会支部長・砂防課長合同会議が開催される

11月7日(月)、国土交通省西山砂防部長、(一社)全国治水砂防協会岡本理事長を来賓に迎え、東海地区の各支部長、砂防課長等の出席の下、三重県大台町で開催されました。

西山砂防部長からは『土砂災害を防ぎ 命とくらしを守る』、岡本理事長からは『近年の災害からの教訓』と題した話題提供をいただくとともに、土砂災害対策における各支部の取組や課題について、各支部長との熱心な意見交換が行われ、大変有意義な会議となりました。



会議の様子

第14回富士山火山砂防計画検討委員会

12月14日(水)、富士市の富士市産業交流展示場「ふじさんめっせ」で火山や砂防の専門家、国土交通省、気象庁、静岡・山梨県の関係機関による「富士山火山砂防計画検討委員会」が開催されました。

昨年公表した「富士山火山噴火緊急減災対策砂防計画(基本編)」を受けて「同(対策編)」の検討を進めており、今回の委員会では、「同(対策編)」に盛り込む被害想定と緊急減災対策方針について、委員から助言を頂きました。



検討委員会の様子

平成28年度静岡県砂防・治山連絡会議を開催

12月19日(月)、砂防事業と治山事業が連携して効率的に事業を実施するため、砂防・治山連絡会議を県庁で開催しました。

会議には国土交通省中部地方整備局、静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所、林野庁関東森林管理局、静岡森林管理署、伊豆森林管理署、天竜森林管理署、大井川治山センター、県森林保全課、県砂防課の担当者が出席し、来年度以降に事業実施を予定している箇所の事業調整を行いました。



会議の様子



個別調整

お知らせコーナー

土砂災害防止に関する絵画・作文の応募のお礼

6月1日～9月15日の間、県内の小中学生の皆さんに土砂災害防止への理解と関心を深めていただくため、作品を募集したところ、多数の応募をいただきました。誠にありがとうございました。なお、入選発表及び表彰式は平成29年3月を予定しています。



【応募状況】

部 門	小学生	中学生	計
絵 画	14	33	47
作 文	25	5	30
合 計	39	38	77

砂防および地すべり防止講習会のお知らせ

砂防および地すべり対策業務を担当する職員を対象に関連知識を習得し、円滑に業務を遂行するための講習会が開催されます。

日 時：平成29年2月16日(木)・17日(金)
 会 場：砂防会館別館 シェーンバッハ・サボー 利根
 参 加 費：5,000円 (テキスト代3,000円、受講費2,000円)
 主 催：一般社団法人 全国治水砂防協会 TEL (03)3261-8386
 問合せ先：全国治水砂防協会静岡県支部 TEL (054)221-3042



平成29年 砂防関係の 主な行事



●支部活動予定

5月31日(水) 静岡県支部役員会および第72回通常総会(静岡グランドホテル中島屋)
 6月1日(木)～7日(水) かけ崩れ防災週間(県内各市町)
 1日(木)～30日(金) 土砂災害防止月間(県内各市町)
 1日(木)～30日(金) 急傾斜地パトロール(県内各市町)
 6月中 土砂災害に対する全国統一防災訓練(県内各市町)
 みんなで防ごう土砂災害(青葉シンボルロード)
 市町等砂防担当職員研修(静岡県内)
 8月24日(木)～26日(土) 市町長等砂防関係事業県外視察(北海道)
 11月28日(火) 砂防関係事業促進要望(議員会館等)

●協会本部活動予定

2月16日(木)・17日(金) 第57回砂防および地すべり防止講習会(砂防会館)
 5月24日(水) 評議員会・参与会(砂防会館)
 25日(木) 第81回通常総会(砂防会館)
 10月19日(木)・20日(金) 砂防現地視察と討論会(熊本県)
 11月27日(月) 参与会(砂防会館)
 28日(火) 全国治水砂防促進大会(砂防会館)



【表紙写真】

みかんの向こうに(撮影地:静岡市駿河区小坂)
 松永 孝三郎さん(静岡県吉田町)

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

編集後記

明けましておめでとうございます。昨年は熊本地震や台風10号などにより全国各地で大きな土砂災害等が発生し、尊い命や財産を失いました。被害に遭われた方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。年頭にあたり、皆様方のご多幸を祈念しますとともに、本年も砂防だよりのご愛読をよろしくお願い申し上げます。

砂防だよりは砂防課ホームページでご覧いただけます。 <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>